



2023年2月22日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証グロース)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

一般社団法人福岡疾病予防管理センター（F-CDC）との包括業務提携契約の締結及び F-CDC への基金拠出に関するお知らせ

当社は、2023年2月22日開催の取締役会において、一般社団法人福岡疾病予防管理センター（代表理事：鳥海 互、福岡県久留米市、以下、F-CDC）の活動趣旨に賛同し、当該法人との包括業務提携契約（以下、業務提携）の締結及びF-CDCの基金の一部として800万円を拠出することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

当社は、探索研究から非臨床研究、臨床研究までシームレスにカバーしたグループ創薬支援プラットフォームの提供を通じ医薬品開発及び社会に貢献することを目指しております。

一方、F-CDCは、2021年12月に設立され、大学や自治体・福岡バイオコミュニティ^{※1}との連携のもと新興感染症や人獣共通感染症に対する治療薬やワクチンの研究開発について、大学の実験施設を活用した支援業務等を行っています。また、感染症の研究や教育を一層充実させることを目的に、九州大学に寄付講座として連携総合診療内科学講座^{※2}を提供しています。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症研究に貢献すべく、これまでもACE2エクソンヒト化マウス、SARS-CoV-2スパイクタンパク質抗体等の開発・作製を行っておりますが、F-CDCの「ウイルス感染症に対する治療薬開発に貢献し、国民の安全安心に寄与する」という設立趣意に賛同し、更なる社会貢献を実現すべく、感染症治療薬開発領域の非臨床試験受託サービス開始を目的とする本包括業務提携契約を締結するとともに、基金を拠出することといたしました。

今後、当社グループは、F-CDCとの連携を強化し、グループ創薬支援プラットフォームを最大限に活かし、新型コロナウイルスや近い将来発生する新興・再興ウイルス感染症に対する治療薬やワクチンの迅速な開発に貢献することを目指します。

2. 包括業務提携の内容

当社は、F-CDCの協力のもと九州大学に付属する施設を活用し、感染症に対する薬剤開発や感染症メカニズムの研究のための非臨床受託試験を実施します。

3. 業務提携先の概要

(1)	名 称	一般社団法人福岡疾病予防管理センター
(2)	所 在 地	福岡県久留米市百年公園1番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表理事 鳥海 互
(4)	事 業 内 容	新興感染症及び人獣共通感染症の治療薬・ワクチンならびに遺伝子治療薬等の開発支援等 https://www.f-cdc.or.jp/
(6)	設 立 年 月 日	2021年12月16日
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	
	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2023年2月22日
(2) 業務提携契約締結日	2023年2月22日
(3) 業務開始日	2023年4月1日(予定)

5. 今後の見通し

本業務提携による2023年3月期及び2024年3月の連結業績に与える影響は軽微ですが、感染症治療薬開発に本格的に貢献することで、中長期的な企業価値最大化に向けて取り組んでまいります。

今後、本提携の具体的な進捗に応じて業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

◆ご参考

※1 福岡バイオコミュニティ (<https://www.fbv.fukuoka.jp/>)

国(内閣府)の「バイオ戦略」に基づくバイオ関連市場の拡大に向けた施策である「地域バイオコミュニティ」の第1号として、福岡が令和3年6月に認定されました。バイオコミュニティは、バイオビジネスに関係する国内外から人材・投資を呼び込み、各市場領域における製品・サービスの提供体制を強化し、世界市場に進出することを目標に活動を進めています。当社もF-CDCもその会員企業として活動しております。

※2 九州大学連携総合診療内科学講座

本寄付講座は、九州大学が指定国立大学法人の課題の一つとして設定している感染症診療と感染制御を統合した診療部門における専門医の育成、及び研究体制の整備を行うことを目的に設置されました。

以上